

かしま 議会だより

第123号

令和7年9月定例会号

令和7年11月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



かしま伝承芸能フェスティバル

9月定例会	P2～P3
議案審議	P4
一般質問(12名)	P4～P10
決算審査特別委員会委員長報告	P11
討論	P12
文教厚生産業常任委員会審査報告	P13
議会あれこれ／議長交際費	P14



鹿島市のホームページも
ご覧ください。

鹿島市議会

検索



鹿島市公式アカウント
てのひら市役所



いますぐ友だち追加！

20日・休会
21日・休会
22日・決算審査特別委員会
（特別会計、企業会計、討論、採決）

23日・休会
24日・休会（議案整理）
25日・一般質問（3名）
26日・一般質問（3名）
27日・休会
28日・休会
29日・一般質問（3名）
30日・休会（議案整理）

【10月】
1日・休会（議案整理）
2日・一般質問（3名）
3日・委員会報告、議案審議
・質疑、討論、採決
・閉会

鹿島市議会
令和7年9月定例会 会期日程
1、会期
自 令和7年9月4日
至 令和7年10月3日
2、日程
【9月】
4日・開会
・会議録署名議員の指名
・会期の決定
・議案の一括上程（市長の提案理由説明）
5日・休会（議案研究）
（一般質問 発言内容通告締切）
6日・休会
7日・休会
8日・休会（議案研究）
9日・休会（議案研究）
10日・決算説明、委員会付託、議案審議、質疑、討論、採決
11日・議案審議、質疑、討論、採決
12日・常任委員会（議案審議）
13日・休会
14日・休会
15日・休会
16日・休会（議案研究）
17日・決算審査特別委員会（開会、現地調査）
18日・決算審査特別委員会
（政策総務部、建設環境部）
19日・決算審査特別委員会
（教育委員会、市民部、産業部）

次のことを審議し決定しました

【令和7年9月定例会】

		釘尾勢津子	宮崎 幸宏	笠継 健吾	中村日出代	池田 廣志	杉原 元博	樋口 作二	中村 一堯	松田 義太	勝屋 弘貞	角田 一美	伊東 茂	福井 正	松尾 征子	中村 和典	徳村 博紀	採 決 結 果	
議案第53号	令和6年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第54号	令和6年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第55号	令和6年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第56号	令和6年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第57号	令和6年度鹿島市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第58号	令和6年度鹿島市下水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第59号	鹿島市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第60号	鹿島市個人情報の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第61号	鹿島市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第62号	鹿島市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第63号	令和7年度鹿島市一般会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第64号	令和7年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第65号	鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意
議案第66号	令和7年度鹿島市一般会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第67号	鹿島市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意
議案第68号	鹿島市農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意
諮問第 3号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	適任

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席

議案審議

議案第53号 令和6年度鹿島市
一般会計歳入歳出決算認定の
大綱質疑

議案第53号

令和6年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について



伊東 茂議員

質問 令和6年度の決算にて、歳入の市税（市民税・固定資産税・軽自動車税）全ての不納欠損額が前年度に比べ約

669万円増加、総額1285万円程となっている。市税収入は自主財源の根幹をなすものである。欠損額増加の理由を問う。

答弁 不納欠損処分は納税義務が消滅した時、又は納税の見込みが無くなった時の決定手続きである。主な理由は新型コ

ロナウィルス感染症の影響により業績不振と失業等で滞納者が増えたことによる。聞き取り、財産調査を行い、今後も納税が不可能と判断し、調定金額を消滅させた。



松田 義太議員

質問 令和6年度の決算において、大型事業（市民文化ホールサクラス等）を終え、投資的経費（公共事業等）が減少し

ている。市内経済は物価高騰も含め、厳しい状況が続いている。令和7年度は、国、県の補助事業、交付金等を活用し、景気の下支えになるように努めてもらいたい。

政運営に努めていきたい。

一般質問

一般質問に12人が登壇しました

一般質問のYouTube動画配信！

9月25日、26日、29日、10月2日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

【9月25日】  釘尾 勢津子 議員 伊東 茂 議員 松尾 征子 議員	【9月26日】  杉原 元博 議員 福井 正 議員 中村 一莞 議員
【9月29日】  中村 日出代 議員 笠継 健吾 議員 松田 義太 議員	【10月2日】  角田 一美 議員 樋口 作二 議員 勝屋 弘貞 議員



釘尾 勢津子議員

鹿島市民の幸福のために！！

「稼げる農業」の推進と
LGBTQをめぐる
諸問題について

質問一 「稼げる農業」の推進について。

答弁 市内に園芸団地を整備することで、新規就農者の育成確保とトレーニングファーム卒業生を始めとした意欲ある農業者が安心して営農でき、施設園芸野菜や根域制限みかんなど高単価の作物を栽培できる基盤整備づくりを行っている。

質問二 農業の担い手育成と経営力強化について。

答弁 農業経営者の年齢構成については、20、30代が3%、40代が6%、50代16%、60代37%、70代27%、80代以上11%。60代以上が全体の75%で高齢化が進んでいる。経営体の内訳は、市内787経営体のうち、法

人化は18経営体で2・3%（農事組合法人2、（株）10、団体5、その他1）個人経営が769経営体（97・7%）となっている。

質問三 LGBTQ（性的少数者）をめぐる諸問題について。

答弁 この法律で地方公共団体の役割として、国との連携を図りつつ、地域の実情を踏まえ施策を策定し実施するよう努めるものとなっている。具体的には、学校・地域・家庭・職域など様々な場を通じて、多様性に関する理解を深めることができるよう学習や広報活動を通じた知識の普及、相談体制の整備など必要な施策を講ずるよう努めるとされている。

質問四 LGBTQ教育について。

答弁 学校の教科の指導

は、文部科学省が定める学習指導要領に則って行われる。

その学習指導要領にはLGBTQについての記述はなく、教科の授業でLGBTQ教育を取り扱うことはない。一方、人権教育や生徒指導の側面からは、性的マイノリティの児童生徒への理解促進や、いじめ防止、相談しやすい環境づくりなど、具体的な対応策については、各学校で共通理解を図り、対応している。



伊東 茂議員

児童生徒の熱中症対策と
教育環境の充実について

質問一 今年の夏は異常な暑さだった。児童生徒の熱中症軽減策として

ネッククーラー・背中冷却パット（ランドセル用品）などの衛生的な保険用品の無償配布を行政は実施し、登下校での体調管理に努めるべきと考え

る。後の施設整備について問う。

答弁 現在の特別教室への設置率は小学校57%、中学校47・5%である。令和8年度は小学校6教室、中学校1教室に設置し、今後も計画的に設置していく。

質問二 学校の教室にはエアコンが設置されているが特別教室の音楽室・家庭科室・理科室などにはエアコンが設置されて

なく夏場の授業が難しいため、早急な設置を先生方は要望されている。今

松尾市政4年間
総括について

質問 松尾市長が令和4年誕生した当時、6つの施政方針を発表された。約4年を総括し、達成状況を問う。

答弁 就任当初はまだコロナの影響が強かった。対策としての「助かつ券」は好評だった。高校生までの医療費助成、インフルエンザ助成など若者から高齢者まで支援が出来た。JRの利便性向上、有明海沿岸道路など要望活動を精力的に行っ



ハンディ扇風機



ネッククーラー

た。今後も引き続き活動が求められる。DX推進は県内でも先行していると感じる。



松尾 征子 議員

鹿島駅周辺整備事業は

見直しを

質問一 長崎新幹線開業により長崎本線は市民の足が奪われ不便になった。このような事態に対応するために「鹿島駅周辺整備事業」を発表し、9月から駅舎新築の工事が取り組まれることになった。総予算53億円（県45億円・市8億円）令和11年完成予定という。完成後鹿島市、又市民に何を果たすと思うか。

質問二 商業施設が入るとのこと。どれくらいの施設が入るのか。

質問四 外部から観光客などを集めるというが、電車も不便、道路事情も悪い今必要なのは、有明沿岸道路早期着工、長崎本線を元に戻すことなどが鹿島のこれからの発展のためには大事なことです。中途でも計画の見直しを行うこと。答弁は不要。

答弁 これまでになかったフリーステーション・駅でないイメージで新しい駅を作ると県もいっている。駅は市民の玄関口、スローストリズムの玄関口となることを目指す。市民が日常的に集いなどを開催して主体的に集める場所にしていくことが大事。市民と来訪者との交流が生まれ関係人口を増やし、住民や定住人口を増やしていくという

質問三 珍しいものが来れば最初はよい。しかし、以前ピオの問題があるように、ピオを核にして中心商店街を栄えさせると取り組まれた。商店街が栄えるどころか入店した市外からの商店はすべて撤退して今の状況である。規模の小さなものでも鹿島市民の購買力では持ち続けることが出来なかった。



肥前鹿島駅周辺整備イメージの全体図

質問一 今夏、杵藤地区と鹿島市の熱中症で緊急搬送された状況について聞く。

答弁 6月、8月杵藤地区で126人、鹿島市で24人。70歳以上が5割以上占める。

質問二 クーリングシェア（市指定暑熱避難施設）の開設について聞く。

答弁 「市民交流プラザかたらい」と「生涯学習センターエイブル」の2か所を7月から開設。両施設とも9時から22時まで開館。

質問三 涼み処（熱中症予防休憩所）の箇所と利用時間について。

答弁 市指定が10か所、民間が1か所あり、開設時間は施設の開館時間で休館の場合利用できない。

質問四 小中学校での熱中症対策について。

答弁 全ての小中学校で

暑さ指数（WBGT）の測定装置を使って屋内・屋外・体育館などの熱さ指数を毎日測定。その他、登下校時のネッククーラーや日傘使用の許可、体育の午前中実施、塩分タブレット配布等行っている。

質問五 今後の猛暑・熱中症対策について。

答弁 地球温暖化対策と市民の健康面から、暑熱避難施設や給水スポットの活用を促進し、各機関と連携して対策を推進していく。

ではの商品を生み出している。

質問二 KATARAとの連携について聞く。

答弁 今年度から「地域主体で持続可能なスローストリズムの仕掛けづくり事業」に取り組み、定期的に情報交換を行い協力していく。

質問三 今後の公民連携についての考えは。

答弁 行政と民間団体とともに連携し、協働し合う事で柔軟に地域課題に対応していく。今後とも公民連携の導入と活用を積極的に検討し、持続可能なまちづくりに繋げていく。

質問四 充実した公共サービスについて。

答弁 行政サービスの向上には、民間の効率性や柔軟性の視点が不可欠になる。様々な関係者・団体等と連携を深め取り組んでいく。



杉原 元博 議員

「猛暑対策」について



福井 正議員

鹿島市の物価高対策

鹿島市の物価の状況について

質問 最近買物の際、食品の価格が上昇している。米の価格は2か月前5kg2,000円程度が、4,300円程度に上昇している。他の副食品も値上がりしている。鹿島市としての認識はどうか。

答弁 物価指数は4・1%上昇していることは認識している。

鹿島市の公共料金のこれから

質問一 鹿島市の公共料金、特に上下水道料金は、我が家の料金は、2か月で合わせて39,000円程度である。鹿島市の上下水道料金について、コスト増の場合今後も値上げがあるのか。

答弁 上下水道の赤字防止のため、やむを得ず料

金改定もあり得る。

質問二 鹿島市では各種申請書・証明書を取得する場合、市役所だけでなく、コンビニでも取得でき便利になった。

取得時の手数料について、市役所とコンビニ取得と比較した費用は。

答弁 市役所での取得は、150円でありコンビニ取得は10円である。

質問三 鹿島市民の所得状況はどれくらいなのか。鹿島市の一次産業と商業者の売り上げ状況調査は。

答弁 自営業や農漁業などをしていた年金受給者となる高齢基礎年金のみの受給者は1人当たり平均額732,595円の受給をされている。



肥前鹿島駅前の商店街



肥前鹿島駅



中心商店街



中村 一堯 議員

小中学校の体育館冷暖房設備導入について

質問一 夏の暑さや冬の寒さは年々厳しさを増している。特に体育館は断熱性が低いため、夏はまるで蒸し風呂、冬は底冷えするような環境になっている。こうした環境の中で子どもたちが授業や行事を行っている状況は、決して望ましいとは言えない。文部科学省の調査では、全国的に小中学校の体育館への冷暖房設置が進んでいるが、佐賀県はその設置率が全国で最下位である。鹿島市でもこれは大きな課題である。

体育館は、体育の授業や部活動だけでなく、入学式や卒業式などの学校行事にも使われている。さらに災害時には、地域の皆さんが身を寄せる避難所にもなる。こうした大切な施設に冷暖房が整っていないのは、子どもの学習環境の面でも、防災

の面でも問題である。鹿島市にも1、2つは空調設備が完備された体育館が必要であり、たくさんの方から最近頼まれる。是非、こういった声に耳を傾けて空調完備の体育館を整備して欲しいがどう考えているか。また、空調が整備された体育館ができるまでの熱中症対策をどう考えているか。

答弁 現在鹿島市では、小中学校の体育館に冷暖房を設置するよりも、特別教室（理科室や音楽室）に冷暖房設備を導入することを優先している。小中学校の体育館には大型の扇風機を備えており、必要な時には利用してもらっている。体育館や武道場に冷暖房空調設備を導入する時は、学校や部活動の公平性を考えていかなければならない。先に空調を導入した学校、



空調設備がある嬉野市社会文化会館（リハバイ）

数年後に空調を導入した学校など差がないように考慮する。昨年からは体育館への冷暖房設備導入の交付金などもあるので今後事前の調査をしながら、導入に向けて取り組んでいく。



中村 日出代 議員

度重なる市行政事務の ミスの発生について

令和7年6月6日
発表、生活保護に
おける加算の認定
漏れについて

質問一 発表された内容
は。

答弁 この度生活保護に
おける障害者加算、介護
保険料加算の認定漏れが
あった。このような事案
が発生したことは対象者
の受給者と市民の皆様
にお詫びを申し上げ再発防
止に努める。

質問二 鹿島市の長期認
定漏れは何か月か。

答弁 介護保険料加算の
9か月。17,960円。

質問三 厚生労働省の実
施要領では年間2回以上
家庭訪問を実施すると定
められているが。

答弁 家庭訪問はしてい
ると思うが確認が漏れて
いた。

質問四 家庭訪問はしつ

かり実施してもらいたい。
答弁 答弁者うなずく。

令和7年8月20日
発表、戸籍証明書
(除籍謄本)の誤
交付について

質問 除籍謄本は重要な
証明書類。20通の内4通
を誤交付した。幹部職員
は確認しないのか。

答弁 誤りがあったこと
について市民の皆さんに
お詫び申し上げる。今回
の事案を教訓に再発防止
に努めていく。交付した
時他の者が確認していな
い。

令和7年8月27日発
表、鹿島市プレミアム
付商品券当選者通知
の誤送付について

質問一 委託料は。

答弁 この度鹿島市プレ
ミアム付商品券事業で送
付する予定の無い当選通

知をした。市民の皆様
に混乱を招いたことにお詫
びする。委託料総額8,
800万円。

質問二 あまり利用して
いないと聞いている。

答弁 20枚位皆さん使っ
ていると聞いている。

質問三 8,000万円
使うならば助かつ券が良
いのではないか。

答弁 前回は商品券を全
市民にお配りした。今回
は経済の支えと地域の
事業者の応援のため。

市長に今後の 市政運営について

質問 松尾市長にはこの
事態を重く受け止め今後
の市政運営に当たって頂
きたい。

答弁 今回行政ミスの指
摘があった。今後市民に
お詫びをしながら再発防
止に努める。



笠継 健吾 議員

ゼロカーボンシティの 取り組みについて

質問一 令和4年9月ゼ
ロカーボンシティ宣言後、
取り組みはどうか。

答弁 二酸化炭素排出
量を2030年度は
2013年度比59%削減、
2050年は実質0を目
指す目標を設定した。市
民へ太陽光発電設備や蓄
電池の設置補助を推進し
ている。

質問二 太陽光発電設備
の設置状況はどうか。

答弁 令和6年度10月か
ら太陽光発電設備8件、
蓄電池8件。令和7年度
9月16日現在太陽光発電
設備13件、蓄電池10件で
ある。

質問三 太陽光発電設備
が多くなったとは感じな
い。その理由は採算面と
思われる。採算の合うク
リーンな電気の推奨はど
うか。

答弁 そのことについて
は、検討する。

森林環境整備の
取り組みについて

質問一 鹿島市の森林は
全面積の約47%である。
温室効果ガスの9割は森
林が吸収するといわれる。
鹿島市の森林整備の取り
組みと森林環境譲与税の
状況はどうか。

答弁 能古見浅浦地区か
ら森林整備を進めている。
浅浦地区の人工林の間伐
対象は143ヘクタール。
令和7年度末までに内73
ヘクタール済む予定で
51%完了予定。鹿島市全
体の人工林は760ヘク
タールあり、年間25ヘク
タール済ませる予定でい
けば、約30年を要する。
森林環境譲与税は今ま
で6,700万円を受領
し、約4,000万円を
使用、積立基金は約2,
700万円である。

質問二 森林の外側から

は整備の状況は感じない。
外側はどうするのか。

答弁 森林の中の整備が
難しく、難しいところか
ら実施している。

災害時の避難場所の 環境対策について

質問一 避難の指定場所
はどこか、準備している
物資は何か。女性への配
慮はあるか。

答弁 地区公民館、小中
学校、地区体育館等24か
所である。食料、毛布、
トイレ等幅広く準備。簡
易トイレが女性専用とし
て設置可能である。

質問二 避難所となる体
育館に空調を完備すべき
である。同質問があった
ので回答不要。



松田 義太 議員

鹿島市が直面する 政策課題について

水道事業の 維持管理について

質問一 水道事業の現状
と問題点について伺う。

答弁 鹿島市の水道管路
の全延長は約226km。
現在の老朽化率は、
8・87%。低い状況だが、
老朽管の更新を行わなか
った場合、10年後には老
朽化率が50%を超えると
予測されており、更新が
喫緊の課題である。

質問二 令和6年2月6
日の佐賀新聞に令和3年
度の決算値では、水道施
設の急所に当たる基幹管
路の耐震化率2・2%と
報道された。大規模な災
害が各地で頻発しており、
早急な対応が必要と考え
るが担当課の見解は。

答弁 令和5年に策定
した水道施設整備基本
計画に基づき、計画的
に更新事業を進めてき

教育環境の充実に ついて

質問一 市内小・中学校
施設（特別教室、体育
館）の空調設備設置状況
について伺う。

答弁 小学校の特別教室
の設置率57%、体育館0、
中学校の特別教室47・5
%、体育館0。

質問二 学校体育館に空
調整備がされていないこ
とは、通常の授業は基よ
り、部活動や子ども事業
(市子連等)に大きな影
響があっている。

国は学校体育館への空
調整備の早期実施に向け
た交付金を創設した。補
助率は1/2、地方負担



鹿島西部中学校体育館

た。令和6年度末におい
て、基幹管路の耐震化率
は24・4%になり、今後
も更なる更新率向上を
目指し更新・耐震化に努
めていく。

額に地方債の充当が可能
になった。市の負担額は
事業費の1/4(例1億
円の事業であれば、市の
実質負担額は2500万
円)になる。また、体育
館空調の光熱費にも交付
税措置がされる。有利な
補助制度を活用し一日も
早く空調設置を検討すべ
きではないか。

答弁 学校施設への空調
設置の必要性は十分に理
解しているの、前向き
に検討したい。



角田 一美 議員

重度心身障害者医療費助成の 現物給付について

との意見交換・協議中で
ある。

市長の政治姿勢・2期目 への出馬意向について

質問一 1期4年を総括
し、成果は何か。

答弁 ふるさと納税が
15億円を超え各種新規事
業に着手できた。高校生
の医療費無償化、小学6
年・中学3年生の給食費
の無償化、園芸団地・生
産基盤の整備で新規就農
者の開拓、DX・デジタ
ルの推進、環境問題への
取り組み等地域課題への
取り組みが評価され環境
まちづくり大賞など多く
受賞した。

質問二 市長自身の評価
と残された課題は。

答弁 連携・信頼関係構
築、職員提案の雰囲気づ
くりで職場の活性化、市
民との対話ができた。今
後の課題は人口減少の中

で、庁舎、小中学校の統
廃合、地区公民館施設等
のあり方など公共施設の
マネジメントが今後の大
きな課題。鹿島駅前周辺
整備後、町の活性化につ
ながる施策への取り組み
が必要である。

質問三 2期目への出馬
意向をお伺いする。

答弁 次の4年間のまち
づくり、私も関わって
いきたい。

決算審査特別委員会委員長報告

本会議において本委員会に付託された議案第53号から議案第58号までの6議案につきまして、9月17日、18日、19日、22日の4日間にわたり委員会を開催した。

まず17日に以下の議案関係4か所の現地調査を行った。

①市道中川・犬王袋線改良工事②鹿島市サテライトオフィス等開設支援事業③浜小学校体育館改良工事④遊休農地の果樹園再整備事業

市長以下、執行部の出席のもと、審査に入った。

一般会計は、歳入172億8151万3850円、歳出は170億493万4845円、差し引き2億7657万9005円の黒字決算。

国民健康保険特別会計は、歳入決算額38億7088万7386円、歳出決算額37億5110万1435円であり、1億1978万5951円の黒字決算。

後期高齢者医療特別会計は、歳入決算額5億3642万5856円、歳出決算額5億3333万4756円で、収支差引き309万1100円の黒字決算。

水道事業会計決算は、収益的収入6億1856万9897円、収益的支出4億4977万8026円、差し引き純利益は1億2823万3756円。

下水道事業会計決算は、総収入10億6779万5392円、総費用10億1406万9540円、差し引き2562万7434円。

監査委員から6議案に係る決算審査の結果について説明。

「審査に付された歳入歳出決算及び同附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、係数についても関係諸帳簿及び証拠書類と照合の結果、適正に表示されていた。また、予算の執行については、歳入の確保と歳出予算の効率的な執行に配慮しながら各種の施策が推進されており、各会計とも予算計上の趣旨に沿って適正に処理されていた。」と報告を受けた。

説明後直ちに審査に入り、本委員会に付託された6議案に対し、各委員からの多項目にわたる質疑があり22日の質疑終了後に討論、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定することとした。

決算審査特別委員会 委員長 伊東茂

【決算審査特別委員会の経過】

9月17日午前10時開会

主要施策の成果説明書の概要説明、決算審査等の概要説明、現地調査箇所の事業概要説明。午後より現地調査4か所。

9月18日午前10時より終日

一般会計歳入歳出決算認定について質疑（政策総務部ほか、建設環境部）

9月19日午前10時より終日

一般会計歳入歳出決算認定について質疑（教育委員会、市民部、産業部ほか）

9月22日午前10時より終日

特別会計3議案、公営企業会計2議案質疑後、議案第53号から議案第58号までの一括討論、採決。



▲市道中川・犬王袋線改良工事



▲サテライトオフィス等開設支援事業



▲浜小学校体育館改良工事



▲遊休農地の果樹園再整備事業



樋口 作二議員

鹿島の自然を本物の豊かさに

質問一 鹿島の自然はど
こが豊かなのか。

答弁 多良岳から有明海まで豊かな生物多様性にあふれている。その中で伝統を守り、未来に向けて地域を活性化させているところに自然の豊かさを感じる。

質問二 鹿島の自然の豊かさは減少してはいないか。

答弁 外来生物が増え、イノシシなどの鳥獣害も目立つようになったが、ラムサール条約締結後、環境に関わる施策を相次いで打ち出し、自然の豊かさに目を向けた活動も増えた。アキアカネやミツバチなども減ってきたが、特にミツバチの減少はイチゴなど農作物の生産を困難にしている。これらの生物の減少は気候変動などの影響と共に農業の影響も指摘され、適

正な使用が求められている。

質問三 子どもの成長と自然とのふれあいについてどう考えているか。

答弁 自然に触れ合うことは子どもの感性に訴え、自然の不思議さに気づき感動する子どもを育て、鹿島愛に結び付くと考えている。

質問四 ラムサール条約登録10年間の成果と課題は何か。

答弁 多くの企業や市民との連携で幅広い取り組みができた。環境学習も推進室自ら学校に出かけ、有明海の環境保全等に目を向けた活動が展開できたので、これからもこうした活動をより深化させていきたい。



シオマネキ

様性増進法が制定され、これを受けて七浦地区の3・11haが「ななうら干潟とめだかの里」として認定された。ここでは植物や昆虫、魚類など多くの生き物が棲み、絶滅危惧種も多く生存している。国の認定式では特に優れた取り組みとして評価されたので、これからも市民と共に鹿島の自然を生かした政策をより強固に進めていきたい。



勝屋 弘貞議員

「市長と語る会」について

質問一 「市長と語る会」を通じ市長が思ったことを話したい。

答弁 令和4年から7年まで開催してきた。高校生、市内16の保育所、PTA、漁協青年部など、いろいろな方々から意見を聞く機会があった。それぞれ思いを受け止めて様々な課題があることを認識した。

七浦地区母ヶ浦水系の浸水問題では、対策協議会を発足し、それぞれの部署で対応していたものを、総合的に対策をやつてもらえるよう県にお願いし、解決に向けて取り組んだ。暑さ対策では、高齢者や子どもたちの涼むところが無いというところで、サクラス・かたらい・地区公民館等を「涼み処」として開放し、給水のスポットとしても活用している。高校生か

らは肥前鹿島駅の乗り換えダイヤについて要望があり、JRと協議し乗り継ぎの利便性を向上した。地区や団体ごとの要望を受けて、担当課と協議し一定の方向性を示す取り組みをやってきた。第8次総合計画を策定中だが、今後5年間でどのような取り組みでいくのか考えているところだ。

質問二 10年後の鹿島市、市長が描くビジョンに笑顔で溢れる多くの市民の姿は映っているか。

答弁 今どのような取り組みをするかで、10年後の満足度がどうなるかというところ。いろいろな人たちが鹿島市の魅力を自分たちが享受し、自分たちが実践する。そして、情報を発信していくことが鹿島の魅力発信に繋がる。鹿島ならではの魅力、10年後に子どもたちが自

信をもって「鹿島は良い所」と思えたら、笑顔溢れる街になっていく。総合計画のキーワードは「笑顔」。個々の政策課題の中で、一つひとつ練り上げ、市民が笑顔溢れる街づくりを目指していく。

賛成討論

議案第53号／議案第58号について

中村 一堯 議員

令和6年度の事業では、脱炭素社会の実現やDX推進といった事業に積極的に取り組まれており「手のひら市役所」や業務改革推進支援、地域脱炭素重点対策加速化事業といった事業に力を入れられた。また、ふるさと納税事業では寄付額が初めて15億円を突破しており、鹿島市にとって非常に貴重な財源となった。

昨年は市政70周年開催や天皇皇后両陛下の行幸啓、国民スポーツ大会などさまざまな事業で鹿島市が盛り上がった年であり、企業誘致推進基盤整備事業では十字路交差点の3年間空いていたビルが改修され、サテライトオフィスとなり5社の企業が進出し、街中に活気が生まれてきた。

鹿島市が目指す都市像「みんなが暮らしやすく、住みやすい街づくり」が着実に進んでいる。今後は肥前鹿島駅周辺整備事業により、鹿島の姿が大きくかわり、さらに進化していく。松尾市長のリーダーシップのもと市民目線、近隣市町との連携、男女平等参画などをしっかりと進めていただき、鹿島市の発展に向けて議会も市民と一緒に盛り返り上げていくことを申し上げ、賛成討論とする。

反対討論

議案第53号／議案第58号について

松尾 征子 議員

公平・公正な行財政運営を

行財政運営は公平・公正でなくてはいけないと、言い続けている。同和団体補助についてはいまだ改善されない。他の福祉団体と比べても問題。特に今回指摘したいのは鹿島市で唯一女性が一同に取り組む「かしま市みんなの集い」。決算書には事業だけ挙げられ、事業費は勿論、負担金あるいは補助金など市からは出されていない。男女協同参画社会づくり事業などというのなら市が財政的な負担をしても事業に取り組むことだと思う。

決算の概要

令和6年度 鹿島市会計別決算状況

(単位：千円)

会 計 区 分		歳 入	歳 出	差引額
一般会計	一 般 会 計 (会 計 決 算)	17,281,514	17,004,935	276,579
	※決算統計(地方財政状況調査)	17,298,266	16,989,425	308,841
特別会計	国 民 健 康 保 険	3,870,887	3,751,101	119,786
	後 期 高 齢 者 医 療	536,426	533,335	3,091
合 計		21,688,827	21,289,371	399,456

※一般会計の数値は、決算統計（地方財政状況調査）と実際の会計決算とは分類方法の違いがあり、集計上の差異が生じる場合がある。（対外的には、決算統計の数値を使用するのが通例）

【議案第59号 文教厚生産業常任委員会審査報告】

9月10日の本会議において「文教厚生産業常任委員会」に付託された『議案第59号鹿島市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について』委員会を9月12日に開催した。執行部から説明を受け、質疑応答、討論、採決を行い、起立全員で可決した。

【執行部からの説明趣旨】

制定理由は、児童福祉法の規定に基づき、乳児等通園支援事業の整備及び運営に関する基準について必要な事項を定める為。背景は、全ての子育て世帯・家庭に対し保護者の働き方やライフスタイルに関わらない形での支援を強化する為、『こども誰でも通園制度』（法令においては「乳児等通園支援事業」）が創設されることとなった。制度の概要は生後6か月から満3歳未満で、保育所等に通っていない子どもを育てている家庭が、月一定時間（鹿島市では10時間）までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度となる。家庭にいただけでは得られない様々な経験を通じて、子どもの成長を促し、育ちを応援する事が主な目的となっている。本制度には、一般型と余裕活用型があり、鹿島市に於いては、余裕活用型での実施を想定している。

【委員からの質問及び執行部の答弁（抜粋）】

（質問）今回手挙げ方式で募集された結果、3園から取り組みの意向が示されたという事であるが、何人の枠で要望がっているのか。

（答弁）今回の事業において対象年齢が生後6か月から2歳、満3歳になる前までの方になるので、120人程度が対象となる。正式な申込ではなく、希望調査を取った時が3園ではあったが、基本的には余裕活用、利用定員の空き利用での活用になるので、何人の定員でしますというのは今からの協議となる。

（質問）新しい制度の中での今回の実施になるかと思うが、鹿島市としてこれまで、こういった要望とか声が実際に保育所とか、市民や保護者から上がっていたのか。

（答弁）核家族が進む中、一人での子育てで相談するところがないとかの声があり、こういった国の制度を活用してできるものと思っている。あと、保育園側も、児童との日頃の活動の中、子育てに困っておられる保護者や特に配慮が必要な子どもさんへの対応、保護者の方への相談窓口といったところが必要ではないかという声もあっている。今回希望される園はそういったところで手を挙げておられるところもある。

（質問）予約をしなければいけないという事で、週に何日か仕事をしているのでその期間は預かってくださいとか、どういう方が対象になるのか。

（答弁）育児休暇が取れないところで、もう少し働きたいけれども保育園に預けられないとか、同じ年齢の子ども達とちょっと慣れたいいただきたいという方が利用されるのかと思う。あと、ひとり親家庭さんとか通院とか何かの用事で近辺に預ける事が出来ないとか、そういった方が利用されるのではないかと考えている。

議会あれこれ (令和7年7月～9月)

7月

- 7日 杵藤地区広域市町村圏組合議会7月臨時会
- 9日 議会だより編集会議
- 10日 長崎本線利用促進期成会要望
- 14日 議会だより編集会議
国道498号整備促進期成会総会
- 15日 国道207号改良促進期成同盟会総会
有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会総会
- 18日 部落差別撤廃・人権擁護審議会
- 23日 環境未来都市特別委員協議会
- 24日 佐賀県市議会議長会議員研修会
- 29日 知事・市町議会議長懇話会
- 31日 総務建設環境委員協議会

8月

- 4日 佐賀県市議会議長会先進都市視察研修 (～6日)
- 18日 杵藤地区広域市町村圏組合議会勉強会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 藤津・鹿島地区衛生施設組合定例議会
- 26日 全員協議会
文教厚生産業委員協議会
総務建設環境委員協議会
- 27日 杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会
- 28日 佐賀県西部広域環境組合第1回臨時会

9月

- 2日 議会運営委員会
- 4日 9月定例会 開会 (～10月3日)
議会情報発信・議場解放プロジェクト会議

- 10日 9月定例会 議案審議
総務建設環境委員協議会
- 11日 全員協議会
9月定例会 議案審議
臨時議会運営委員会
議会報告会プロジェクト会議
- 12日 文教厚生産業委員会
- 17日 決算審査特別委員会 (現地調査)
- 18日 決算審査特別委員会 (一般会計) (～19日)
- 22日 決算審査特別委員会 (特別会計・公営企業会計)
- 25日 9月定例会 一般質問 (～26日)
文教厚生産業委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 26日 臨時議会運営委員会
- 29日 9月定例会 一般質問
議会情報発信・議場解放プロジェクト会議

行政視察受入状況(令和7年7月～9月)

- 7月28日 新潟県新潟市議会
文教経済常任委員会 (17名)

議長交際費を公表します。

金額単位：円

	7月		8月		9月		合計	
区分	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔意	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	1	3,000	0	0	0	0	1	3,000
会費	0	0	2	12,000	0	0	2	12,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	3,630	0	0	0	0	1	3,630
合計	2	6,630	2	12,000	0	0	4	18,630

編集後記

九月議会は、決算審査特別委員会に加え、一般質問では12名が登壇し、市政のあり方を論議しました。その中でやはり今夏の酷暑対応が話題になり、鹿島市には無い冷房施設を備えた体育館の必要性が話題になりました。さらにこの酷暑、農作物の生産にも影響し始めましたので、やはり人類が作り出した地球温暖化そのものを克服するべく、我々の暮らしを見つめなおす必要があるようです。そんな中、鹿島市の活動が自然共生サイトに登録という嬉しいニュースが飛び込んできました。これからの鹿島市の進歩、やはり自然を生かした鹿島ならではの政策で進めと言われているようですね。

令和7年度 かしま議会だより編集委員会

委員長 樋口 作二
副委員長 笠継 健吾
委員 角田 一美
顧問 中村 和典

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。